

9月 14~16日 ワールドカップに向けた3日間の強化合宿
デフフットサル女子日本代表候補合宿



言葉で指示を出してはいけないというルールで行ったミニゲーム

デフフットサル女子日本代表候補合宿が町体育センターで行われました。デフフットサルとは聴覚障がい者がプレーするフットサル競技のことで、合宿初日には千種小学校で児童との交流授業が行われました。

長年の功績を称えて

高齢者叙勲 瑞宝双光章

吉田保美さん (88歳 音羽 元特定郵便局長)

西警便り nishikei dayori

民事介入

暴力巡回無料法律相談

暴力追放三重県民センターの相談委員や弁護士、警察官が面談し、暴力団との民事トラブルや不法行為などによる被害についての相談を受け付けます。

日時 10月29日(日) 13:00~16:00

会場 四日市市諏訪町2-2 四日市市総合会館7階 第2研修室

- 刑事問題
- CASE 1 暴力団から脅されている
 - CASE 2 暴力団から乱暴された

民事問題

- CASE 3 暴力団から用心棒代、挨拶料等を要求された

- CASE 4 暴力団が交通事故の示談、債務整理、債権の取り立てに介入している

- CASE 5 暴力団に金を貸したが返してくれない 売掛金を払ってくれない

- CASE 6 暴力団への加入を要求されている 暴力団からの脱退を妨害されている

問い合わせ 暴力追放三重県民センター TEL 0120-31-8930 三重県警察本部組織犯罪対策課 TEL 059-222-0110 四日市西警察署 TEL/FAX 394-0110

9月 7日 社会福祉活動等に対して顕彰
社会福祉大会を開催



認知症の方を地域で支えていくことが大切だと伝える高井さん

社会福祉大会が町民センターで開催され、障がい克服し自立更生された方や社会福祉の発展に寄与された方と団体に表彰状などが贈られました。その後、高井隆一さんが「認知症鉄道事故裁判～最高裁判決がもたらしたもの～」と題して講演を行いました。認知症であった父を鉄道事故で亡くした高井さんが鉄道会社との損害賠償をめぐる裁判の経緯や当時の介護の大変さについて語りました。



令和元年 全国 地域安全運動

下記の期間に住民の皆さん、関係機関・団体等と連携して、地域の犯罪情勢に即した効果的な犯罪抑止対策を推進していきます。

運動期間 10月11日(金)~20日(日)

- 運動重点
- POINT 1 子どもと女性の犯罪被害防止
 - POINT 2 特殊詐欺被害の防止
 - POINT 3 自動車関連犯罪の被害防止
 - POINT 4 空き巣の被害防止
 - POINT 5 自転車盗の被害防止

8月 29日 日本代表として世界に挑む
水球国際大会代表メンバーに選出



左から畑さん、山田さん

これまでの全国高校総体(インターハイ)等での活躍が評価され、第10回アジアエージグループ選手権(17歳以下)の水球競技で国際大会の代表メンバーに選出された畑翔太郎さん(四日市中央工業高3年)と山田凧航さん(同3年)が町長を訪問しました。町長から今回の大会での意気込みを問われると畑さんは「日本人以外と戦うのは初めてですが、世界でどこまで自分が通用するのか試したい」と話し、町長は「町民、そして日本の代表として頑張ってください」と激励しました。

9月 4日 宿泊施設での大規模火災を想定
特別消防訓練を実施



訓練の最後、建物に向かって一斉放水を行う消防署と消防団

特別消防訓練が湯の山区の宿泊施設国民宿舎湯の山口ツジで実施されました。今回は、従業員、湯の山温泉協会、消防署、消防団(湯の山分団、菰野分団第1班、本部分団)から83人が参加し、大きな地震により施設内で火災が発生したという想定で訓練が行われました。訓練が始まると従業員の方々が初期消火や避難誘導を行い、消防署と消防団が連携して逃げ遅れた宿泊客を2階から救出し、消火訓練を行いました。

8月 22日 敬老の日に合わせて長寿を祝う
満100歳を祝い表敬訪問



優しい表情で記念撮影に写る平井さん(写真右)

満100歳を迎えた平井つたへさんを町長が表敬訪問し、長寿を祝いました。平井さんは長年、美容師として勤められ、現在はみずほ寮で生活されています。町長から長寿の秘訣を尋ねられると、「食事は好き嫌いせず何でも食べることです」と答え、「日頃からいろんな人によくしてもらっています。どんなことでも何でも楽しみながら過ごしています」と、日々の生活について話しました。

8月 22日 礼儀作法を重んじて競技に臨む
日本拳法で全国大会出場



左から平野さん、荒川さん、小林さん

第40回日本拳法三重県総合大会の個人戦で入賞し、日本拳法総合選手権大会に出場する荒川由妃さん(菰野高1年)、平野倫さん(菰野中3年)、小林紅葉さん(朝上小4年)の3人が町長を訪問しました。町長から「日本拳法のやりがいは」と問われると平野さんは「目標を設定し、それを達成してさらなる目標を設定していくことです」と答え、町長は「本番に近い環境は最も自分の力を伸ばすことができます。自分の力を成長させ、目標を達成するために頑張ってください」と激励しました。